

● 「手書き」機械製図（全5回）コース 講座内容

コース名	「手書き」機械製図コース		
科目名	機械製図の読図		
講師名	吉田 進	授業日数	5日間
講義目的 達成目標	<p>機械製図規格及び機械要素規格を理解し、これを機械・装置などの図面を読み、描くことに有効な能力を養うことであり、機械技術者となるために欠かすことが出来ない技術である。</p> <p>教材を有効活用し、機械製図に関する総合的な判断力を養い、読図と作図の能力の向上をはかる。</p>		
講義内容 授業計画	<p>1日目：図面の必要性・立体を紙に表すルールを学ぶ 第三角法のルールを学ぶ、図面から立体をイメージする。(演習問題実施)、補助となる図法を学ぶ 投影法・断面図・その他の図法、図面用紙の構成</p> <p>2日目：寸法表示を読み取る。寸法数値の読み方 寸法補助記号・加工穴・座ぐり・深ざぐり 寸法記入上の注意点等、演習問題で理解を深める。</p> <p>3日目：公差を読み取る。 数値で表す・普通公差・記号で表す（はめあい） 表面性状を読み取る。表面粗さの記号 機械製図課題にて理解を深める。</p> <p>4日目：機械要素の図示法 ねじ製図、ばね製図、歯車製図、軸受製図を 理解する。</p> <p>5日目：その他の表示 材料記号・溶接記号 他の工業部門製図を理解する。 検図テストにて理解度を確認する。</p>		

教材は「JISにもとづく標準製図法」理工学社発行